

ちいさな証

大病に罹って得たこと

クライナー佐々木千恵子

シュトゥットガルト日本語キリスト教会



私の大病をとおしての小さなお証しをさせていただき恵みを感じたいです！沢山のとりなしのお祈りを主がきいてくださったことをお証しさせていただきたいとおもいます！

今回、スイス日本語福音キリスト教会、ヨーロッパの日本語教会／集会そして日本の全く知らない方々まで、私の病気のことでお祈りいただきました。

おかげ様で、主はお祈りを聞いてくださり、このように元気にさせていただきました。主を賛美いたします！ハレルヤ！長い間、続けてお祈りして下さった沢山の方々に、この場をおかりして、心より感謝いたします！ありがとうございました！私たちが、どんなに助けられ、支えられ、癒されたか、そして感謝しているか、筆舌に尽くすことはできません！

昨年4月の終わりに突然、お腹がおかしくなり、一週間くらい主治医を何回も訪れました。すぐ治るだろうと思っていたのですが、どうにもこうにも耐えられなくなりました。家庭医では原因が判明せず、病院に行きCT検査をした結果、大腸に大きな腫瘍が見つかり、即入院し翌日に緊急手術となりました。検査結果は大腸ガンステージ4で、大腸を60センチ切り取りました。大腸ガンはリンパ腺まで侵食していたので、患部摘出後、人工肛門を造設しました。この大手術後、化学療法が半年続き、人工肛門を戻す手術、リハビリ施設に入所と、ほぼ1年間の闘病生活でした。

入院した日、お祈りの要請のため、私自身は誰にもメールや電話をできる状態になく、日本語のできない主人アツツカに教会にお知らせしてとかわらうじて頼みました。手術のあと、病院の無味乾燥な病室で沢山のチューブにつながれ、全く動きがとれない中で、夜も目は冴えているのですが、不思議なくらい心が平安なのです。それは、多くの兄弟姉妹のお祈りに包み守られ、偉大な存在に、守られ支えられていたからに違いありません。

ん。不思議なほどに、不安と心配の渦にまかれることがなくおれたのは、神さまがついていて下さる！イエス様も共に苦しみを背負ってくださるといふ確信の故だと思います。

又、神さまの摂理のなかで最善に導かれたと思ったのは、あまりにもガン宣告が緊急だったので、病院や医師選択の余裕もなく、不可避的に、その病院で緊急手術を受けたことです。医師の手術技術も優れていて、病院もものすごく行き届いて、重病患者の私を丁寧に扱っていただきました。ただただ主に感謝いたしました。医師や病院の選択の余地もなく、神様の大きな流れの中に乗せられて動いているようなイメージでした。半年間の化学療法も、ほとんど副作用のない生活が送れたのも、兄弟姉妹の真摯なお祈りに主が応えてくださったのだと信じています。お祈りありがとうございます！



闘病生活は、ほぼ家と病院だけのたんとした生活なのですが、毎日、家の中で祈り、聖書を読み、沢山の祈りや暖かな言葉に助けられ、平安に過ごさせて頂くことができました！主は素晴らしいお方で、感謝に満ちた時間を過ごさせていただきました。これまでの私であったら、おそらく不安と恐れが頭の中を駆け巡り、救いようもなく落ち込んでいたろうと思います。ところが、落ち込まないどころか、心の中は平安なのです。

イエス様は真実で完璧なお方であります。十字架の上で、私の罪咎も病も負ってくださったことを信じ感謝いたします！必ず癒しの業をなして下さるとの確信も祈りの中で与えられ、毎日祈っていました。それに、どれほど沢山の兄弟姉妹のとりなしの祈りに支えられてきたことでしょうか！この大腸ガンという大病に罹ったことで、父なる神*主にある家族*主にある兄弟姉妹に愛を注がれ、言葉では表現できない親しみと暖かさ、平安を体験させていただきました。深く感謝します！

この得難い試練をお与えくださり、試練を乗り越える力をお与えくださった神さま、そのすべてのご栄光を主にお返しいたします！アーメン

主を崇めます！ハレルヤ！

